

2025

12/7  
No.2852

令和7年12月7日 | 第1・3週 日曜発行 |  
※掲載情報は11月27日時点のものです



1~2 特集 歌人?書家?美術史学者?  
教育者?文人 会津八一

- 3 令和6年能登半島地震関連情報  
拉致問題を考えるパネル展  
新潟シンフォニエッタTOKI  
大切な命を守る「マイナ救急」  
冬の新潟を彩るイルミネーション  
年末年始の業務
- 4 連載 輝く高校生  
ニキロニュース  
大雪に備えよう

他3ページは区役所だより  
「情報ひろば」は別冊で発行しています

今号は、新潟市初の名誉市民である会津八一と、功績を後世に伝える施設「会津八一記念館」を紹介します。

問文化政策課  
(025-226-2563)

**文人とは**  
文学などに精通した学問的教養と詩や文章、書画などの芸術的才能を兼ね備えた知識人のこと。

「秋艸道人」を名乗る  
「秋艸道人」は、8月1日だったことから付けられたといわれています。八一は雅号(ペジネー)を「秋艸道人」としていて、「秋艸(秋の草)」は、8月(暦の上では秋)生まれであることに由来します。



▲「大阪屋」の看板



▲法隆寺にある歌碑



▲「新潟日報」の題字

明治から昭和にかけてさまざまなかつて、才能を發揮した、新潟市出身の「文人」会津八一は、類いまれな歌人であり、孤高の書家であり、優れた美術史学者であり、教育者でもありました。各分野で作品や功績を残していく詳しく述べて、新潟日報の題字や老舗菓子店「大阪屋」の看板を書いたことで知られています。八一が詠んだ短歌を石に刻んだ歌碑も各地にあり、県内では県立図書館や県立新潟高校など16カ所、県外にも奈良の法隆寺や東大寺など、30カ所以上に建てられています。

## 会津八一って どんな人?

文人  
会津八一

「道人」とは学問・芸術の道を探求する人という意味です。



地元新潟の文化振興に貢献

詳しい人に  
聞きました!  
会津八一記念館  
学芸員  
湯浅 健次郎さん

**名譽市民とは**  
市民や新潟市に関係の深い人物のうち、学術や技芸、文化の進展または新潟市の発展に多大な貢献をし、その功績が顕著で市民から深く尊敬される人に与えられる称号のこと。

新潟出身や縁のある偉人はたくさんいますが、八一は晩年故郷の新潟に帰り、地元の文化振興に貢献した点でも高く評価されています。新潟で講演や展覧会を精力的に行ったり、地元新聞で随筆を書いてたりしました。八一が生活した秋艸堂では多くの市民に文化芸術の話を惜しみなく伝え広めたといわれています。こうして功績が評価され、昭和26年3月に新潟市初の名誉市民に選ばれました。

会津八一の功績を  
2面で詳しく紹介!

